

令和元年度

大津清陵高等学校馬場分校 アンケート項目一覧およびまとめ

領域	アンケート項目	結果のまとめ等
1 学校経営	単位制の良さを活かし、特色ある学校経営を行っている。	肯定的な結果となったが、今後も単位制の夜間定時制の本校の特色・役割を積極的に発信し理解と協力を得て教育目標達成に取り組む。
	教育方針や教育目標に基づき、効果的な教育活動を展開している。	
2 学習指導	基礎・基本の定着を目標に授業に取り組んでいる。	個々に課題のある生徒が多い中、基礎・基本を大切に授業で、日常生活に結びつく学習内容であったために、肯定的な結果となった。生徒の興味関心を引き出せるよう教育機材導入の効果もあった。
	授業内容を工夫し、生徒をひきつける、わかりやすい授業の展開に努めている。	
3 生徒指導	生徒や保護者の悩みや相談に親身に対応している。	生徒理解に重点を置いた丁寧な指導ができたため、概ね肯定的な結果となった。発達に問題のある生徒が増えているので、今後はさらに関連機関・地域と連携しチーム学校として対応していく。
	いじめの未然防止と早期発見に努め、適切な指導を行っている。	
4 進路指導	生徒一人ひとりの進路実現に努めている。	望ましい職業観・勤労観を育成するため、外部講師を招いて進路ガイダンスを実施した。今後も働くことの、意義・目的を各自が自覚をしつつ、就労意欲の喚起するような教育活動に努めたい。
	望ましい勤労観、職業観などの育成に努めている。	
5 特別活動等	豊かな人間性の育成を目指した特別活動に取り組んでいる。	学校行事等を通して、仲間作り、自治能力、社会性の涵養を目指して指導をしてきた。今後もより社会性が身に付くために、さらなる指導の工夫が必要と思われる結果となった。
	社会性を身につける教育活動に取り組んでいる。	
6 学校図書館	学校図書館が利用しやすいように工夫している。	肯定的な結果となったのは、図書館が本を読むだけの場所ではなく、生徒にとってコミュニケーションの場となっていることにある。活字に親しみながらも、人間関係構築の場としての図書館の役割は大きい。
	新着情報の案内など、読書に親しむ指導に努めている。	
7 保健・安全指導	心身の健全な発達を正しく理解させると共に、自己の体力・能力を伸長する指導に努めている。	学校は生徒の健康管理をするとともに、生徒自身で健康管理に努めるような指導も必要である。健康意識を高めるために、今後もスクールカウンセラー、関係諸機関との連携が重要となる。
	生徒の事故・怪我・病気等への対応を適切に行っている。	
8 人権教育	すべての人の人権を尊重する観点で教育活動を行っている。	概ね肯定的な結果であった。LHRの時間を利用しての人権講演、人権映画鑑賞等で生徒の人権意識が高まるように指導をしてきたが、今後はさらに生徒自信の生き方に響くような教育活動が重要となる。
	LHRなどを活用し、人権意識を高める指導に努めている。	
9 環境教育	ゴミの分別をはじめとした環境教育に取り組んでいる。	リサイクルやごみの分別などについて意識を高めるような指導に取り組んでいるが、まだまだ十分ではない。教科学習においても環境問題に関しての意識を高めるよう授業内容の工夫が必要と思われる。
	教科学習の中に適切に環境学習を取り入れ、環境問題の啓発に努めている。	
10 事務・管理	文書管理を適切に行っている。	施設・設備の安全点検については、消防署や産業医の助言もと適切に管理し、少しずつ改善を図っている。文書管理については、校務支援システムの有効な活用を進めている。
	施設・設備の安全点検を適切に行っている。	
11 その他 学校の取組み	生徒一人ひとりの個に応じた対応・指導に取り組んでいる。	一人ひとりの生徒理解の上に立った丁寧で粘り強い指導に関する評価は高い。今後は増加傾向にある外国籍生徒に対する日本語教育の充実にも努めなければならない。
	全教職員が積極的に生徒を把握し、学校全体で指導に取り組んでいる。	